（第三種郵便物認可）　明治四十四年五月二日　上毛新聞　火曜日　第七千三百二十號　（三）

歐亞視察談（五）

桐生織物組合海外視察員　飯塚春太郎氏

印度の廣軌鐵道

私が歸朝匆々の事であるが印度に汽車があるかとの問ひを發した人があるが飛んでもない事である、日本のやうな汚い瀘車はないが廣軌鐵道といふ立派な汽車がある、アドラス政廳のある處は極く熱い處であるから四月になると政廳が引越しをする、附近に七十尺の高原あり例年は此處に暑を避けて執務する事になつて居る、今は此高原に達すべく機を經るが如く鐵道が敷設してある、碓氷のアプト式を世界にないものだといふがソンなものの處ではない、客は日に幾人も乘せる事は出來ぬが食物日用品一切を送つて居る金さへあれば什麼寒い國でも亦什麼熱い國でも樂しく過す事が出來る、西洋人はあらゆる方面に金を投じてこの樂みを受けんとしつゝあるが英人の如きも印度にあつて熱さ知らずに生活して居る獨りマドラスのみならずボンベイ、カルカッタの住民皆な然りである、鐵道は凡て廣軌で一の列車に荷車二十噸積で六七十輛つけて走る程の牽引力がある而して主なる處は凡て複線で日本の如きがタ〳〵汽車ではない、外國人は何れも一等旅行をして居るが吾々も亦外國人なれば一等旅行をしなければならぬ恁うなれば日本で十人乃至二十人を乘せる處を一人か二人で占領する六疊の間に二人位の見當だ、室内は花電氣で美々しく飾られベル一つ押せば都合の可い處へ電燈がつく沐浴も亦自由である、瀘車中にあつては少しも熱さを感ぜず動搖なき列車は座敷にあるも同樣、而かも世界の名高き熱地の印度にありて汽車中で熱さを知らぬとは何人も意外とする處であらう、更らに鐵道建設の上より見るも隨分大きな鐵橋がある元來印度は大河のあるが上に河水の汎濫は名物の一に計へらるゝ程である、渡良瀬川の鐵橋でさへ技師が保ないといふ位の處から見たら之れ亦實に意外な大工事が施してある、ロカ川は川巾一里に達し中心に桐生一町位の岩があり出水の際水が之れに堰切られて例の大汎濫となる、而かも鐵橋は安全に懸けられてあり遠く望めば恰も虹の如し、この鐵橋は單に汽車の通づるのみならず別に人道も車道も設けられてある、かく歐羅巴人經營の跡を見るに實に驚くべきものがある、而かも其の元を糺せば金の力に外ならぬのである

歐洲文明の程度

諸らぬ話ではあるが歐羅巴物質的文明の程度を知るに足るものがある、十年前には未だ地下鐵道が一本であつたが今やこの地下鐵道は四通八達し田舍にまでも達してゐる、入口は八疊乃至十疊で人が一杯になると地下百八十尺位の處へ降る、降り盡すと其處が丸で市街の形をなして居るかと思ふ程に廣くあり電燈の火で地上と異ならず空氣はドン〳〵送つて來る外は炎熱燒くが如き日でも此處のみは涼しい風が通る、汽車は三分間毎に出るが何時も滿員ぢやふのである放驚かずには居られない、處で其の經費はどこ云ふと八寸四方の處に三百圓乃至四百圓を要するとこ云ふ、又彼の倫敦の大市街に壓一つない程清潔になつてゐる、路面が凡てアスベルトになり夜の内に水を撒いた處をゴムの繩巾で拭き取るとこ云のであるから奇麗な筈だ、婦人が褄を引いて歩いても汚れる憂なく日本なぞゝは全で違ふ日本でも近頃アルベルトを下谷區の御成街道に引かゝるゝこ云ふ計畫があるさうであるがこのアルベルト六呎即ち四尺八寸四方を布くに三十何圓かゝるこ云ふ話であつた、之を倫敦市の全體とすれば何程かゝつた事か殆ど計算の出來ぬ程である、而して大通には自轉車が飛ぶ、眞に飛ぶのである、東京では生馬の目を拔くとこ云ふが倫敦では正に人間の眼まで拔かれ相だ、又た此方から向ふへ横切るにマゴ〳〵すれば三日もかゝるかも知れぬ、大道を横切る時は全く命懸である、一生懸命である、尤も馴れてゐる人には一向心配はない、それは左行ど右行どが最も精確に行れてゐるからである、這麼具合で少し注意を缺くと迷兒になる隨分三田君などには世話になつたものだ、處で倫敦の市中に自轉車が何臺位あるかと聞いて見るとこ五萬乃至八萬臺あるとこ云ふ

賃織の端糸を買ふ

織元は知ず〳〵損

佐野郡植蓮村大字八寸村五十五番地古郡又三郎（二九）は數年來同地方の賃織業者間を歩き廻り賃織業者が織元に返附すべき端糸又は屑糸を窃かに隱し置くものは情を知り居れば安價に買入れ一纏めとなして他に轉賣し甘き汁を吸ひ居れる男なるが此の頃にては諸方に顏が賣れ賃織業者も亦同人の廻り來るを待つ樣になりたれば織元にては知らず〳〵の間に多大の損害を蒙り來りされば同村駐在巡査は常に又三郎の行爲に注目し居たる處同人が去月四日以來同郡東村大字東小保方村松島勝太郎方にて少しづゝ横領し置きたる賃織糸約三圓六十錢位の物を八十錢に同村小保方運藏妻よし（二）が集め置きたる糸五十七錢許りの物を二十九錢に又三郎の妻（二）が集めたる糸五十五錢の物を一圓八錢に又同八妹滝（二）より同三圓七錢許りの物を一圓五十錢に何れも同村關清助より一圓五十錢の物を八十六錢に買取りたるを看破したるより本署へ引致し取調べたる所他にも同樣犯罪多きより脈物故賣犯ども共に檢事局に送りたり

埋れし富豪の什寶

學校敷地より發掘

印度の廣軌鐵道

▲昨日の言渡　須永政五郎の橫領は懲役一年六月土屋九八郎藤井洗三の僞造貨幣行使及び詐欺は前者は同五年後者は同二年に中野萬平眞鹽市松の詐欺は中野は重禁錮五月眞鹽は同四月に處せらる▲明日の公判　東宮文太郎の誣告新井和助傳原林定吉の放火等なり

前橋法衙だより

▲利根郡利南村升形小學校にては春季遠足として來る五日尋常科五年以上全部は參多郡赤城神社へ遠足一泊錫校又尋常科三四學年生は三峰山の河内神社へ遠足をなすこ云ふ

▲利根郡利南村升形生徒の遠足　利根郡利南村升形尋常高等小學校にては春季遠足として來る五日尋常科五年以上全部は參多郡赤城神社へ遠足一泊錫校又尋常科三四學年生は三峰山の河内神社へ遠足をなすこ云ふ

▲利根郡利南村升形小學校にては同窓會員全部は春季遠足の代りに遠足をなすこに決し來る五日出發勢多郡赤城神社に至り湖畔なる青木亭に一泊錫村の筈なり

▲不就學兒童の父兄　櫪田群馬郡長は昨一日午後九時大類外十三ケ村町に於ける學齡兒童を就學せしめざる父兄保護者六十餘名を郡役所に召喚し此際就學せしむる樣說諭訓誡するところありたり

▲高崎法衙だより　碓氷郡臼井町字五料二九茂木浦次郎（四）は賭博にて安中署より送られ徵役四月に處せらる△北甘樂郡高田村字高田秋尾喜太郎（四）同浦野幾松（二）同眞砂竹次郎（二）同服部慶五郎（二）同本多子之吉（二）は各賭博犯にて富岡署より送られ各罰金十圓宛に處せらる△藤岡町小保榮八（二）窃盜徵役二年に處せらる△東京深川豊川町三三番島寅太郎は詐欺取財にて藤岡署より送られたり

▲賣家へ泥棒に入る　栃木縣上都賀郡寺尾村大字大久保村大塚佐平（二）は賣兒村大字大久保村大塚佐平（二）なる高橋文治との折合惡しく數年前より多郡桂萱村大字堀の下村一五に世帶を持ち農業に縫事し居たるが兄は故郷に相當の財產を有しをるに自分は這麼貧乏暮もなす可からざるを以て受け戻し呉れと賴みて金一圓を許取し又仲仙道上尾停車場の前の旅館に前記の荷車は預けあるを以て其受戻の爲めと稱して金十錢を許取し

▲高陽の艷信　三業見番では高崎育兒院の慈善演藝會の大切符百五十圓の費用を自辨し藝妓の手踊りを寄贈した處甘く當つて大盛況大成功を極めたので世話方の喜悅は一通りでは無く此の秋は更に在高記者團丈の發起で藤守座で慈善演藝會を演ることに極めたと云ふ遣るべし〳〵大いに遣るべし△其の手踊りに就いても松島、六歌仙、櫻狩等は何れも新たに稽古したものであるが去年の共進會に振付に苦心した所爲か存外に覺ゑが好く僅か四五日間見晴館で稽古した許りで彼れ丈に踊れるとの氣燄も好いが由來宇前味噌は臭ふ御座るの△其れから又踊りの師匠たるに藝妓の愈々以て豪いことになつて來る△株式組織で出來た堰代町の貸席見晴館も本月中旬頃には開席の運びに至るとのこと

三ケ町便り

最う節立つて青い穗さへ見ゆる麥の畔から眞直に舞上る雲雀の聲さへ長閑な土曜日の前橋電車に乘合の者のお浦山吹ゴールの鎖を帶に卷き附け中折帽を少し斜に一美人を拉した年配の紳士がある、美人は雛を云へば小股の切上つた眦に少しケンがあるが色くつきりと白く鼻筋も通つて口許も尋常に時々小指に鬢のほつれを掬つてダイヤの指輪をキラリさせ度々振返つて見る車掌にまで少なからず胸を躍らせた、乘合の客の密々話する處に依れば紳士は連雀町齋藤どこ云ふ時計屋さんで美人は丸家の雪子、兩人は瀧川で伊香保電車に乘替へ手に手を取つて千明へ投じた、滾々と竹樋から注ぐ湯瀧に肩を打たせボチヤ〳〵遣つてアヽいゝ心持になつたとそれから對酌の小酒宴に寄鍋の銀杏を割箸に挾んで

前橋市宮町裏一毛（廣瀬川岸）

山下外科病院

（電話二百三十一地）

アンどお云ひ雪子が出すと旦突はアヨと可愛ゆく返事をして夜具のフキの樣な厚い唇を開いて、あつゞと吐出すとオヤ勘忍して頂戴なそんなら半ペンを半分づゝ、仰よく喰べませうとそれは〳〵床の置物の布袋樣まで苦い顏をする程の他愛なさ、翌日は太陽が二ツ嶽の上まで昇つた頃目を覺して一風呂浴びたし朝餉を濟して水道觀音へ行く徑路のあたり陽炎燃ゆる野に優しく咲いた菫、赤ン坊の手の樣な蕨を摘んで飯事遊び、若こんな處を細君に見せたら金庫も時計もポン〳〵往來へ放り出して妾やモウ〳〵と眼を釣上げ身を顫はして旦突の向ふ脛に噛みつく

蹴躓ヶ岡の花盛り

觀客數萬連日雜踏

▲壯士俳說諭さる　長野縣北安曇郡中土村字中谷一六五壯士俳優山田千秋事山田千代次（三）は一昨年高崎市に出稼ぎに來り居る內俳優になる氣になり當時八島町高盛座にて興行中の新派島川一座の座員となりたるが其後諸處を廻り同一座が同縣小縣郡長瀬村に至り興行したる際千代次は同村兒玉音吉長女せん（二）こ云ふを引つかけ情婦となし其後はおせんより少しづゝの小遣錢を卷き上げ居る內同一座も終に解散したるより同人は其後高崎市に來り下和田町官下きく方に同居しおせんの許へ手紙を贈りては縮緬反物等を卷き上げ之を質入又は賣却し居りしも尚足らず今度はおせんを呼び寄せ喰物にせんと呼出しをかけ居たるを高崎署の渡邊刑事が探知し一昨日千代次を本署へ引致し其不心得を說諭し尚おせん方への行動に就ての照會を爲し一時留置せられたり

前橋法衙だより

●前橋生徒の遠足　利根郡利南村升形尋常高等小學校にては春季遠足として來る五日尋常科五年以上全部は參多郡赤城神社へ遠足一泊錫校又尋常科三四學年生は三峰山の河內神社へ遠足をなすこ云ふ

●利南校の同窓會　利根郡利南村升形小學校にては同窓會員全部は春季遠足の代りに遠足をなすことに決し來る五日出發勢多郡赤城神社に至り湖畔なる青木亭に一泊錫村の筈なり

●不就學兒童の父兄　櫪田群馬郡長は昨一日午後九時大類外十三ケ村町に於ける學齡兒童を就學せしめざる父兄保護者六十餘名を郡役所に召喚し此際就學せしむる樣說諭訓誡するところありたり

●高崎法衙だより　碓氷郡臼井町字五料二九茂木浦次郎（四）は賭博にて安中署より送られ徵役四月に處せらる△北甘樂郡高田村字高田秋尾喜太郎（四）同浦野幾松（二）同眞砂竹次郎（二）同服部慶五郎（二）同本多子之吉（二）は各賭博犯にて富岡署より送られ各罰金十圓宛に處せらる△藤岡町小保榮八（二）窃盜徵役二年に處せらる△東京深川豊川町三三番島寅太郎は詐欺取財にて藤岡署より送られたり

●賣家へ泥棒に入る　栃木縣上都賀郡寺尾村大字大久保村大塚佐平（二）は賣兒村大字大久保村大塚佐平（二）なる高橋文治との折合惡しく數年前より多郡桂萱村大字堀の下村一五に世帶を持ち農業に縫事し居たるが兄は故郷に相當の財產を有しをるに自分は這麼貧乏暮もなす可からざるを以て受け戻し呉れと賴みて金一圓を許取し又仲仙道上尾停車場の前の旅館に前記の荷車は預けあるを以て其受戻の爲めと稱して金十錢を許取し

●高陽の艷信　三業見番では高崎育兒院の慈善演藝會の大切符百五十圓の費用を自辨し藝妓の手踊りを寄贈した處甘く當つて大盛況大成功を極めたので世話方の喜悅は一通りでは無く此の秋は更に在高記者團丈の發起で藤守座で慈善演藝會を演ることに極めたと云ふ遣るべし〳〵大いに遣るべし△其の手踊りに就いても松島、六歌仙、櫻狩等は何れも新たに稽古したものであるが去年の共進會に振付に苦心した所爲か存外に覺ゑが好く僅か四五日間見晴館で稽古した許りで彼れ丈に踊れるとの氣燄も好いが由來宇前味噌は臭ふ御座るの△其れから又踊りの師匠たる藝妓の愈々以て豪いことになつて來る△株式組織で出來た堰代町の貸席見晴館も本月中旬頃には開席の運びに至るとのこと

●三ケ町便り　最う節立つて青い穗さへ見ゆる麥の畔から眞直に舞上る雲雀の聲さへ長閑な土曜日の前橋電車に乘合の者のお浦山吹ゴールの鎖を帶に卷き附け中折帽を少し斜に一美人を拉した年配の紳士がある、美人は雛を云へば小股の切上つた眦に少しケンがあるが色くつきりと白く鼻筋も通つて口許も尋常に時々小指に鬢のほつれを掬つてダイヤの指輪をキラリさせ度々振返つて見る車掌にまで少なからず胸を躍らせた、乘合の客の密々話する處に依れば紳士は連雀町齋藤どこ云ふ時計屋さんで美人は丸家の雪子、兩人は瀧川で伊香保電車に乘替へ手に手を取つて千明へ投じた、滾々と竹樋から注ぐ湯瀧に肩を打たせボチヤ〳〵遣つてアヽいゝ心持になつたとそれから對酌の小酒宴に寄鍋の銀杏を割箸に挾んで

前橋市桑町（電話百七番）

旅館 住吉屋

●壯士俳說諭さる　長野縣北安曇郡中土村字中谷一六五壯士俳優山田千秋事山田千代次（三）は一昨年高崎市に出稼ぎに來り居る內俳優になる氣になり當時八島町高盛座にて興行中の新派島川一座の座員となりたるが其後諸處を廻り同一座が同縣小縣郡長瀬村に至り興行したる際千代次は同村兒玉音吉長女せん（二）こ云ふを引つかけ情婦となし其後はおせんより少しづゝの小遣錢を卷き上げ居る內同一座も終に解散したるより同人は其後高崎市に來り下和田町官下きく方に同居しおせんの許へ手紙を贈りては縮緬反物等を卷き上げ之を質入又は賣却し居りしも尚足らず今度はおせんを呼び寄せ喰物にせんと呼出しをかけ居たるを高崎署の渡邊刑事が探知し一昨日千代次を本署へ引致し其不心得を說諭し尚おせん方への行動に就ての照會を爲し一時留置せられたり

●喫煙小僧の說諭　一昨日午後一時頃高崎停車場構內を徘徊し居る小僧の擧動如何にも不審なるより停車場取締の長島巡査が取調べしところ東京府下荏原郡大崎町字谷山一〇四藤吉長男目黑幸作（九）こ云ひ北甘樂郡富岡町に居る伯母昨日ゆみを尋ね行く途中なりこ申立てたるより所持品等を取調べしに卷煙草を懷中し居たる爲め其不心得を說諭し其まゝ放還

●往來で暴れる　市內岩神町七勘五郎長男江原八太郎（二）こ云ふ大工職は一昨夜九時三十分頃何處にて喰ひ醉ひしか向ふ鉢巻片肌脫ぎの大威勢にて榎町十二番地先の往來に立ちはだかりサアベらんめー何でも持つて來ひこ滅多矢鱈こ通行人に喰つてかゝり幅を利かせ居たるを橫山町派出所巡査がコリヤこ一聲叱り付けるに忽ち縮み上つて恐入り尻尾を卷いて歸宅したるが本署へ告發されれば追つて何らかのお灸を据へらるゝなるべし

●清潔法檢査出張　清潔法施行檢查の爲め昨日小野上金島兩村へ出張したり

●荷馬車違犯　群馬郡惣社町高野春吉は荷馬車取締規則違犯にて昨日告發さる

●高崎署の告發　田町三六松本榮二郎方菊地歐次郎（七）は自轉車違犯にて△旭町六八上田定吉（三）は街路へ放尿せし爲め△下和田町一七中島庄三郎（七）も同上にて各百合、酸漿、薑、根竹、蝶の彫刻物か十八金又は銀臺平打製にて處々に石を嵌入せるものなど髮の毛の調和よく小粒の眞珠を嵌入せるもの晴れの挿料に適すべし次は黑甲臺に十八金にて薑、クロバー、王冠等の樣樣へ全體に揃つた眞珠を五六十嵌入せるなど貴婦人向によし其他一般婦人の流行としては黑甲又は黑張臺へ蒔繪か割貝にて光琳の梅雪竹、水仙花の類を大摸樣に見せたる物なり粹向には船來の鼈甲色護謨臺に新ダイヤを無數に嵌入せるものに注意あり夜會、觀劇等の場合には引立ちてよし横挿は本鼈甲の花物にて